

# 平成27年度経営計画の評価（概要）

## （1）保証部門

（重点課題） ① 創業・経営支援の強化 ② 適正保証の推進 ③ 関係機関との連携強化

- 【自己評価】
- ◆ 新たに創業者向け相談窓口を常設化・日曜日に休日相談窓口を実施
  - ◆ 商工会議所・商工会と連携して地域別に現地相談会を実施
  - ◆ 福井商工会議所「開業サポートセンター」を通じて支援を実施
  - ◆ 創業後においても企業訪問を通じたフォローアップを実施
  - ◆ 創業・新規保証利用推進店舗表彰制度の新設
  - ◆ 県と協調して創業者向け制度へ保証料補給・要件緩和を実施
  - ◆ 新規先を対象とし、初めて事前審査制を導入した独自保証「新規プレミアム保証」を創設
  - ◆ 階層別により金融機関向け業務説明会を実施・金融機関営業店の勉強会へ参加
  - ◆ 積極的な企業訪問、McSSを活用した助言・提案、業況報告書を活用した適正保証の推進
  - ◆ 借換保証を中心としたセーフティネット保証による資金繰り支援を実施
  - ◆ 提出書類の簡素化や廃止により利便性向上・保証対応の迅速化を図った
  - ◆ 日本政策金融公庫及び県内7金融機関と「業務連携・協力に関する覚書」を締結
  - ◆ 中小企業支援ネットワーク会議を開催

## （2）期中管理部門

（重点課題） ① 期中支援の充実・強化 ② 期中管理強化による事故・代位弁済の抑制

- 【自己評価】
- ◆ 企業訪問・経営者との面談により積極的に企業の実情把握に努めた
  - ◆ 条件変更先に対する新規借換保証による正常化支援や外部専門家と連携した「経営支援強化事業」による経営支援を実施
  - ◆ 経営サポート会議の開催、バンクミーティングへの参加、経営改善計画策定支援事業利用先等に対する定期的なモニタリングを通じて経営改善・事業再生支援を実施
  - ◆ 金融機関のモニタリング報告書を個別企業の現況確認・保証申込審査等へ活用
  - ◆ 延滞・期限経過・事故報告先の早期実態把握に努め、金融機関と連携して正常化を図った
  - ◆ 条件変更先(元金返済猶予中など)への効果的管理を検討し事故・代弁の抑制に繋がった
  - ◆ 早期事故案件の原因調査・情報共有により保証審査への活用に努めた

## （3）回収部門

（重点課題） ① 回収目標額の設定・管理 ② 回収の最大化 ③ 回収スキルの向上

- 【自己評価】
- ◆ 担当者毎に回収目標を定め、回収方針の徹底と進捗管理に努めた
  - ◆ 代弁見込段階から期中管理部門と連携し、企業カルテを活用して回収の早期着手に努めた
  - ◆ ターゲットを絞った督促を実施（回収強化月間・督促強化週間）
  - ◆ 夜間・休日督促については前年より実施回数を増やして実施
  - ◆ 任意処分を中心に担保処分の促進に努めた
  - ◆ 返済金額の増額・新たな定期回収先の掘り起こしにより定期回収の底上げを図った
  - ◆ 無担保・実質無担保求償権は、サービサーへの回収委託を実施し効率的回収に努めた
  - ◆ 顧問弁護士を講師に、最新の金融判例など研修会を開催し、回収スキルの向上を図った

## （4）その他間接部門

（重点課題） ① 広報活動の充実 ② 景況調査の実施 ③ 経営基盤の強化 ④ 人材の育成  
⑤ コンプライアンスの強化及び顧客情報管理の徹底 ⑥ 危機管理体制の強化

- 【自己評価】
- ◆ 機関誌やホームページによるタイムリーな情報提供・協会の取組みの情報公開を実施
  - ◆ 中小企業者及び金融機関アンケートを実施し、利用者のニーズや協会業務の問題点を把握、業務改善を図った
  - ◆ 景況調査を実施し、当協会を利用する中小企業者の実情把握に努めた
  - ◆ 全部署による完済企業訪問により“企業と共にある保証協会”としての意識醸成を図った
  - ◆ 連合会や外部講師による研修会の実施、資格取得の推進により職員の資質向上に努めた
  - ◆ 協会不正利用の防止、職員への啓蒙活動、個人情報等重要情報の適正管理に努めた
  - ◆ 緊急連絡網の模擬訓練を実施、今後とも危機管理体制について不断の見直しを行っていく

（単位：百万円）

	計画	実績	対計画比	対前年比		計画	実績	対計画比	対前年比
保証承諾	56,720	38,159	67.3%	83.7%	保証債務残高	176,414	162,268	92.0%	83.6%
代位弁済	5,252	3,604	68.6%	84.8%	保証債務平均残高	184,739	176,085	95.3%	84.7%
実際回収	1,197	1,430	119.5%	119.9%	求償権残高	1,364	1,061	77.8%	125.1%